

順天寮 広報誌

やまぼうし

発行 No, 10

社会福祉法人 伊南福祉会
救護施設 順天寮
令和2年2月10日

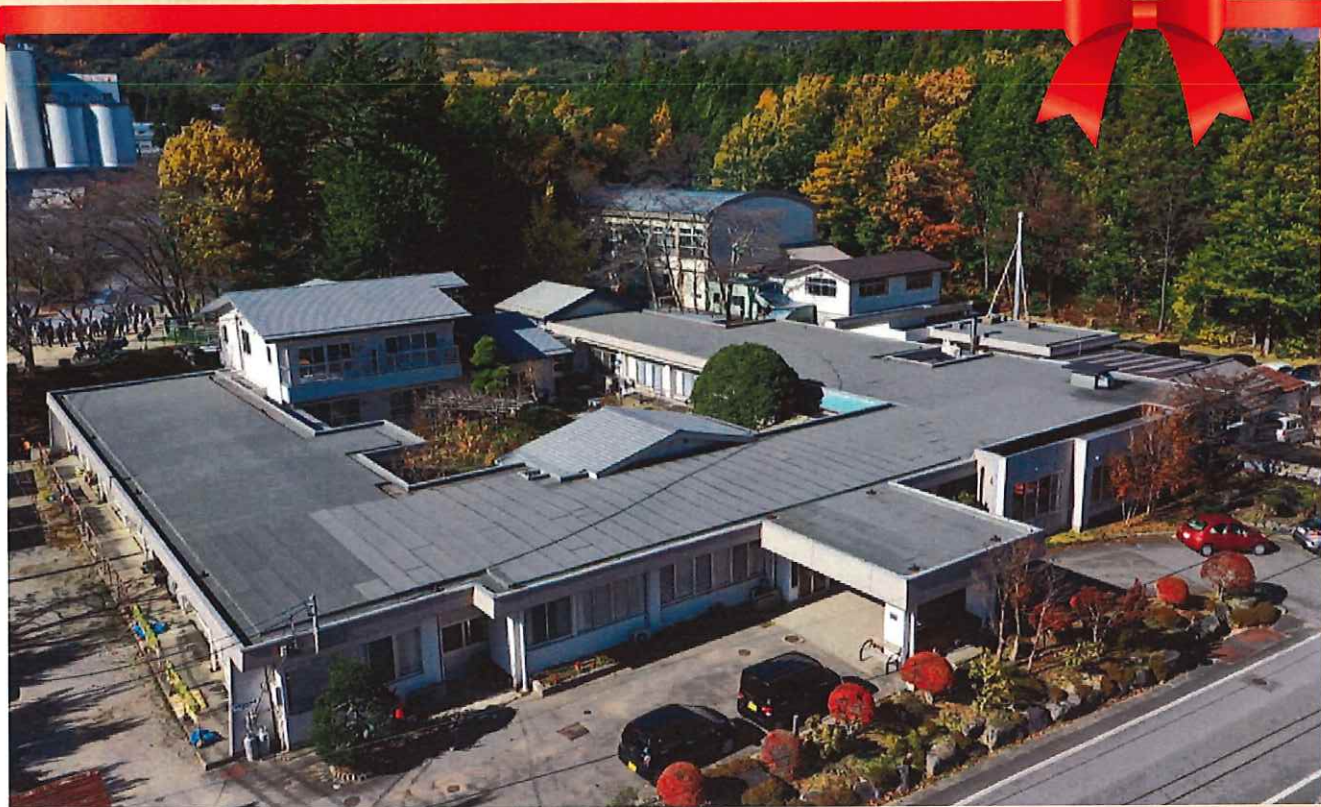
〒399-4117

長野県駒ヶ根市赤穂 8200-3 Tel.0265-83-2335 fax0265-81-7335

理念 友・愛・絆 「私たちは、毎日の生活の中で共に生きる友として尊重し、親愛の心を持ち寮全体を深い絆で結び合い、利用者の幸福の実現と潤いのある施設づくりを目指します。」

順天寮開寮60周年記念特集





六十周年を迎えて

寮長 猿田孝弘

順天寮が開寮六十周年を迎えました。これまで多くの皆様からのご支援で育てていただいたことに対し深く感謝申し上げます。

現在、順天寮では利用者六十余名が、地域の皆様のご理解と応援から大きな力をいただいて、それぞれの暮らしの充実と自立に向けて懸命に生活しています。

六十年は人間の還暦ですが、昨今は、まだまだ若手と言われます。順天寮も今後の飛躍に向け気を引き締めてまいります。

折しも、救護施設の方向性も転換期を迎えています。生活に困難を抱える方々に安心できる暮らしを提供するという基本に変わりはないものの、一歩踏み込んで、自立への働きかけ強化、引きこもりなど社会からの孤立への対応が大きく期待されてきています。

これら社会の要請に応えるべく、今後とも精進してまいります。引き続き、ご支援をお願いします。



六十周年に寄せて

元(第二十二代)寮長 新山 護

この度、救護施設順天寮が開寮六十周年の記念すべき年を迎えられ、誠にめでたうございます。私は平成二十五年から約四年という短い期間でしたが、他では得られない貴重な経験をいただいた年月でした。

全国をリードする講師を招いて行った北陸中部地区の職員研修会や利用者や職員が一体となった県内七救護施設の交流会など思い出は尽きませんが、特に印象に残っているのが、四年目の秋、利用者の皆さんと出かけた静岡への一泊二日の旅です。中には施設外への宿泊は困難と思われていた方もいましたが、何とか体験させてあげたいという職員の熱意を受け出かせました。心配事ばかりでしたが、寝ずの番ほか的確な対応により、笑顔で帰ることができました。職員の情熱と頑張りを感じ、可能性を求めて行動を起こしていくことの重要性を再認識した二日間でした。

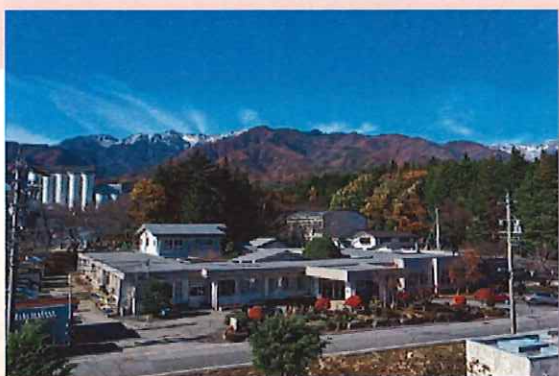
基本となる施設内での支援強化に加え、地域移行への新たな取り組みが求められる時代の流れの中で、居宅生活訓練事業や自立準備ホーム、グループホームなどの事業が始まりました。これらを契機に近隣の皆様はじめ民生児童委員や保護司の皆様など、関係する多くの皆様にお世話になりました。今日までご協力いただいた皆様に、この場をお借りして敬意を表するとともに心から感謝申し上げます。

六十周年を契機に利用者の皆様、職員の皆様並びに関係する多くの皆様方のご健勝と益々のご発展を祈念申し上げお祝いいたします。

60年の歩み

- 昭和34年4月1日 下平地区に生活保護法の規定に基づく救護施設として事業開始
- 昭和51年4月4日 現在地に移転改築
- 昭和56年3月 体育館竣工式
- 平成6年4月1日 経営主体を駒ヶ根市から伊南福祉会へ移管
- 平成18年4月 新館増改築
- 平成24年2月 耐震補強・スプリンクラー設置工事
- 平成25年6月1日 居宅生活訓練事業開始
- 平成26年4月1日 一時入所事業による地域困窮者の緊急保護支援開始

- 平成26年10月1日 通所・訪問事業「やまぼうし」(独自事業)開始
- 平成27年4月1日 保護施設通所事業開始
- 平成27年9月1日 自立準備ホーム登録
- 平成29年2月1日 生活困窮者自立支援法 認定就労訓練事業(中間的就労)事業認定
- 平成30年4月1日 生活困窮者自立支援法 就労準備支援事業受託
- 令和元年10月 福祉サービス第三者評価受審



現在の全景 (令和元年12月)



開寮当時(下平地籍)の全景

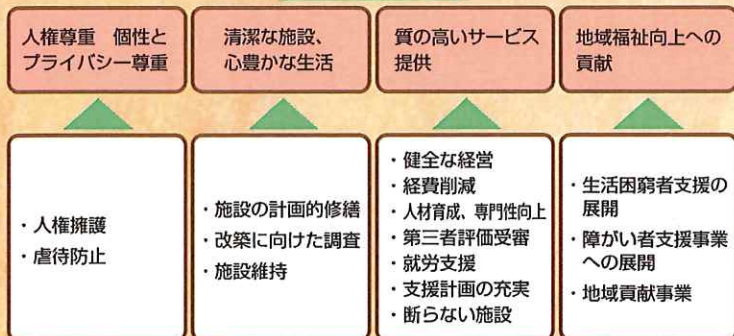


現在の居室

開寮当時の居室

●今後の目標 — 順天寮の将来ビジョン体系 —

友・愛・絆 私たちは、毎日の生活の中で共に生きる友として尊重し、親愛の心を持って寮全体を深い絆で結び合い、利用者の幸福と実現と潤いのある施設づくりを目指します。



●順天寮の事業

救護施設の運営 -----
生活保護法による入所施設での生活全般への支援

居宅生活訓練事業 -----
施設利用者の方がアパート等で居宅生活に近い環境で生活訓練を行い、地域生活に移行できるよう支援

保護施設通所事業 -----
地域で生活している生活保護受給者、順天寮退寮者に、通所又は訪問により生活自立支援や就労自立支援を実施

やまぼうし -----
保護施設通所事業の期間終了後、地域で生活を継続する方の生活相談等を独自で実施 -----

生活困窮者自立支援事業 -----
認定就労訓練事業(中間的就労)、就労準備支援事業

自立準備ホーム -----



おしらせ

バレーボール、バスケットボール、バドミントン、卓球、地域の交流会など、使用していただけます。使用料は電気代として一回五〇〇円です。

使用を希望される時は、事前予約をお願いいたします。

どちらのお問い合わせ先も ↓ 順天寮 0265-83-2335



不要な衣類やタオル・アルミ缶、ございましたらおゆすりください

体育館をお貸ししています
地域の方の活動にお役立てください

12月 クリスマス



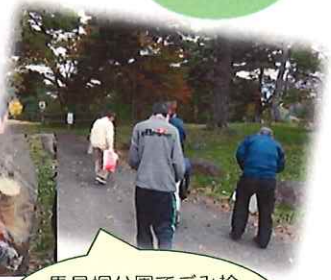
保育園の園児さんから歌のプレゼントをいただきました♪



オリジナルケーキの完成☆

思い出

11月 奉仕活動



馬見塚公園でごみ拾いをしました。公園も心も美しく♡

ご報告

ご厚志をいただきました
ありがとうございます

保護司会南部分区様

(かき氷・さつまいも)

宮田歌謡曲友の会様

(カラオケ慰問)

禁煙友愛会様

(ご厚志・タオル)

福祉サービス

第三者評価受審

令和元年初、福祉サービス第三者評価を受審しました。

結果報告についてはまともり次第ホームページに掲載いたします。



つくってみよう! 順天レシピ



サバの梅みそ煮

今年も、中梅を使って梅みそを作りました。この梅みそでサバのみそ煮を作ると、ほどよい酸味でおいしいですよ。



まずは梅みそ作りから

【用意するもの】

- 梅 1kg
- みそ 700g
- 砂糖 350g
- ホワイトリカー 140cc

【つくりかた】

1. 梅は洗ってザルにあげしっかり水気を切り、ほぞを取る
2. みそと砂糖を混ぜ、全体の1/4を残しておき、梅を混ぜる
3. 容器へ入れ、残しておいたみそを、覆うように入れる
4. リカーを注ぎ入れる
5. ふたをして冷蔵庫へ ☆1ヶ月ほどおいたら食べられます

あとは、この梅みそを使ってサバを煮るだけです。お好みに応じて、普通のみそと砂糖で味を整えてください。



地域の皆さまのご理解、ご協力のもと、順天寮も六十周年を迎えることができました。心より感謝申し上げます。

暖かい春の日ざしが待ち遠しい毎日ですね。まだまだ寒さが身に沁みますが、体調を崩さぬよう気をつけて日々を過ごしていきたいと思ひます。

